

## 集会アピール

本日、我々は、JR東海会社がおこない続けていた西組合員に対する強制出向を解除させたこと、そして今後は、元職場への復帰を勝ち取ること、さらに本人の同意なき強制出向と命令と服従の強権的支配体制づくりを許さない闘いを強化することを仲間と共に確認した。

昨年、JR東海会社は、コロナ禍を口実にして「新幹線乗務員に対する54歳原則出向」の再開を明らかにした。我々は仲間との議論を通じて、この攻撃は、JR東海会社が新幹線の運輸所職場で、命令と服従の強権的支配体制を完成するために、JR東海労の運動と組織を職場から無くしていくことを最大の目的に据えた攻撃であることを暴き出し、反転攻勢の闘いを仲間と共に積み重ねてきた。その闘いが、西さんに対する強制出向の解除につながったのである。

我々の闘いは、JR総連傘下の仲間だけにとどまらず、多くの仲間からの共感と期待を受けてきた。「やっぱり諦めずに闘うことが必要ですね」「私も一緒に闘います」「相談にのってください」「これからもよろしくお願いします」という仲間からのメッセージがそれを物語っている。我々は、新幹線地本の仲間の闘いに学んだ。仲間の職場での闘いに学んだ。仲間の出向先会社での闘いに学んだ。第三者機関を活用した闘いに学んだ。そして我々の闘いは、多くの成果と課題を明確にした。本人の同意なき出向は無効なのである。「54才原則出向制度」など、いまや通用しないのである。JR東海会社は、今後も私たちに騙し、自らの目的を実現しようと必死になるだろうが、我々は仲間と共にこの攻撃に立ち向かっていかなければならない。

5月27日、JR東海会社は西さんに対して、出向の解除決定の報告をおこなった。あらためて言うまでもなく、西さんはこの間一貫して出向に同意していない。しかし、JR東海会社は、昨年10月に株式会社スリーエスへの出向をおこなおうとしたり、本年1月からは、株式会社エムティーへの強制出向をおこない、今日に至っていたのである。西さんは、エムティーへ強制出向されて以降も、JR東海会社に対して、事ある毎に「出向には同意していない、早く元職場に帰してください」と自らの意思を明確に伝え続けた。そして出向先の業務も疎かにすることなく、誠心誠意対応してきた。だからこそ出向先のエムティーからJR東海会社に対しても、西さんの出向解除の要請は再三行われた。それでもJR東海会社は、西さんに対する強制出向を今日まで続けてきたのである。そして現在、西さんと下茂さんが闘っている強制出向反対裁判の場では、「原告西と下茂は、出向先会社での就労を条件とする専任再雇用契約を締結しているから、出向も認めている」などと必死の言い訳をおこなっているのである。

JR東海会社は、西さんと下茂さんの家族の皆さんに対して、不安な日々と精神的苦痛を与え続けている。その責任は重大であり、絶対に看過できない。また、多くの仲間もJR東海会社の命令と服従の強権的支配体制の犠牲になっている。

我々は今後も、労働者の権利と利益を守るために仲間と共に奮闘する。今日まで全国から頂いた多くの支援や連帯のメッセージに対して感謝を申し上げ、仲間が待つ元職場への復帰を一日も早く実現させるために全力で闘っていく。

以上、アピールする。

2022年5月30日

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

本人の同意なき出向反対！西さんへの強制出向解除勝利集会